

東京音楽大学シンフォニーオーケストラ定期演奏会

2019年11月29日 東京芸術劇場コンサートホール



©東京音楽大学

東京音楽大学シンフォニーオーケストラ定期演奏会が11月29日に東京芸術劇場にて開催されました。今年の指揮者は4月に開講した吹奏楽アカデミー専攻の指導教員に就任した下野竜也特任教授。確かな手腕と音楽性から国内外で現在もっとも脚光を浴びる指揮者の一人です。第1部 三善晃「管弦楽のための協奏曲」からはじまり、ベートーヴェン「交響曲 第2番 ニ長調 作品36」、第2部はバルトーク「管弦楽のための協奏」。通を唸らせるメッセージ性の強いプログラムだったと言えるでしょう。楽曲を正確かつ躍動感たっぷりに演奏し、会場から大きな喝采が沸き上がりました。

アンコールは、プーランク（下野竜也編曲）「平和のためにお祈りください」。「前途ある若者たちのがんばりを見ていつもすてきだなと感じています。すばらしい才能をもつ彼らが30年後40年後も幸せな人生を送れるように、戦争のない平和な世界を祈っています」と、オーケストラ用に編曲を手掛けた下野先生のエールで心に余韻を残す演奏会となりました。

東京音楽大学シンフォニーオーケストラは本学学生で編成されたオーケストラで、毎年定期演奏会のほか学内外のさまざまな場所（地域）で演奏しています。指揮者だけでなく、第一線で活躍するプロフェッショナルの教授陣も一緒になって合奏指導を行うスタイルは本学の長い伝統のなかで受け継がれてきました。今年は、第21回別府アルゲリッチ音楽祭において、C.デュトワ（指揮）、M.アルゲリッチ（ピアノ）、M.マイスキー（チェロ）と共演しました。また、恒例となっている夏のオーケストラ合宿の最終日に行う「癒しの森コンサート」（長野県信濃町）や12月8日に特別演奏会 WELCOME to MEGURO（めぐろパーシモンホール）でも演奏しました。

▶【第21回別府アルゲリッチ音楽祭】のレポートはこちら

（広報課）

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2019/11/26757f20d6cc13a81590e5bae608c7c7.pdf>